

大会開催時の感染防止ガイドライン

1) 入場者について

- ① 大会当日に、会場に入場する監督・コーチ・選手は名簿を大会受付に提出後検温を行って入場する。(名簿には14日前からの検温及び健康チェック記入)
- ② 大会役員・審判・報道、取材関係者は所属先と氏名を記入し検温を行ったのちに入場する。
- ③ 参加するチームの応援者(保護者の方々)の入館人数の制限を設ける。
- ④ 大会当日会場に入場する保護者も、選手の所属チーム毎に大会受付にて名簿を提出し検温を行ってから入場する。
- ⑤ 観戦は拍手での応援を基本とする。大声を出さないようにし、メガホンの使用等による応援や、まとまった応援は控えるようお願いいたします。
- ⑥ 大会当日までに37.5℃以上の発熱が3～4日続いた日があったり、極度の咳や倦怠感などの症状があった者については大会への参加を見送り、会場への入場入場は出来ないものとする。

2) マスクの着用

- ① すべての入場者はマスクを着用する。マスクを着用しない者の入場は認めない。
- ② 選手は競技中以外はアップ時でもマスクを着用する。
- ③ 大会役員・審判・補助員・取材者・保護者は常時マスクを着用する。
- ④ 選手が報道陣の取材を受ける際、写真撮影時に限ってはマスクを外すことを認める。

3) 社会的距離の確保

- ① 選手は、競技中を除き、他の選手・指導者・審判・補助員等と社会的距離を確保するように努める。
- ② ミーティングなどは密集にならないように配慮し、短時間で済ませる。
- ③ 選手の更衣は極力自チームの指定席で行い、会場の更衣スペースの使用は禁止とする。(女子については更衣室を用意します。)
- ④ 観客席の間隔については施設管理者の指示に従う。
- ⑤ 保護者は基本、観客席の所定の位置で応援し、観客席以外の場所には立ち入らない。特に1階試合場へは入場を禁止する。
- ⑥ 会場外のフロア・休憩スペース・駐車場等での会話は出来るだけ慎む。

4) 消毒・衛生管理

- ① すべての入場者はこまめな手洗い・手指消毒・うがいなどを励行する。
- ② 主催者は、会場入り口や試合会場に消毒液を設置する。
- ③ 1階フロア・2階観客席は1時間に1回換気をおこなう
- ④ 試合場置の消毒は、2時間に1回程度行う(次亜塩素酸水)
- ⑤ 水分補給は各自で準備するようにして、コップを共用する回し飲みは行わない。
- ⑥ 使用した机・椅子・掲示板などは、大会終了後に消毒液を浸した布巾やペーパータオルなどで拭く。
- ⑦ ゴミは各自ですべて持ち帰る。撤収後に館内を確認し、残っていた場合は道場・クラブの監督に戻ってもらい撤去をして頂く。

5) その他

- ① 大会前に各チーム(選手・指導者)から感染者または濃厚接触者が発生した場合そのチームは出場することが出来ない。

以上